

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・技術課
担当課長名：高松 諭

事業名	一般国道55号 <small>なんこくあきどうろ</small> 南国安芸道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自：高知県南国市物部 至：高知県安芸郡芸西村西分 <small>なんこくしものべ あきぐんげいせいむらにしぶん</small>			延長	12.5km
事業概要					
<p>一般国道55号は、徳島市を起点に阿南市、海陽町、室戸市、安芸市などを経由し、高知市に至る延長約240kmの主要幹線道路であり、四国広域交通ネットワークを形成する基幹道路として、地域の生活や経済、観光の振興に大きな役割を果たしている。</p> <p>南国安芸道路は、高規格道路網を構成する自動車専用道路として整備される「高知東部自動車道」の一部であり、高知自動車道及び阿南安芸自動車道と一体で機能することにより、四国8の字ネットワークを形成し、高知県東部地域の広域交流の促進及び地域活性化に大きく寄与する道路である。</p> <p>また、南海トラフ地震や津波発生時の緊急輸送道路の確保、三次救急医療機関への迅速な救急搬送の支援、地域産業の支援などを目的としている。</p>					
H12年度事業化		H11年度都市計画決定 (H22年度変更)		H14年度用地着手	
H15年度工事着手					
全体事業費	約699億円	事業進捗率 (令和5年3月末時点)	約82%	供用済延長	9.0km
計画交通量	17,100~26,700台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.1 (2.8)	総費用 (残事業)/(事業全体) 3,685/12,927億円 事業費：3,315/12,106億円 維持管理費：318/582億円 更新費：51/238億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 7,484/14,159億円 走行時間短縮便益：6,498/12,289億円 走行経費減少便益：784/1,481億円 交通事故減少便益：202/388億円	基準年 令和5年	
感度分析の結果					
<p>(事業全体)交通量：B/C=1.02~1.2（交通量±10%） (残事業)交通量：B/C=1.8~2.3（交通量±10%） 事業費：B/C=1.1~1.1（事業費±10%） 事業費：B/C=1.9~2.2（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.1~1.1（事業期間±20%） 事業期間：B/C=1.9~2.1（事業期間±20%）</p>					
事業の効果等					
<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる ・路線バス等の速達性・定時性が向上し利便性向上が見込まれる ・高知龍馬空港（第二種空港）へのアクセス向上が見込まれる <p>②物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知港（重要港湾）へのアクセス向上が見込まれる ・高知県東部における農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる <p>③国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知自動車道及び阿南安芸自動車道と一体で機能し、四国8の字ネットワークの形成に寄与する ・隣接した日常活動圏中心都市間（安芸市と高知市）を最短時間で連絡する路線を構成する ・日常活動圏中心都市（高知市）へのアクセス向上が見込まれる <p>④個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「観光振興プロジェクト」、「過疎地域自立促進プロジェクト」、「ゆず振興プロジェクト」を支援 ・高知県東部地域の観光地へのアクセス向上が見込まれる <p>⑤安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知医療センター（三次救急医療機関）へのアクセス向上が見込まれる <p>⑥災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県地域防災計画において第1次緊急輸送道路に位置づけられている ・緊急輸送道路が通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線が形成される <p>⑦地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量の削減が見込まれる <p>⑧生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NOx排出量の削減が見込まれる ・SPM排出量の削減が見込まれる 					

⑨他のプロジェクトとの関係

- ・第2次南国市都市計画マスタープランの中で「交通施設の整備方針」として位置づけられている
- ・「南海トラフ地震」における救援ルートの信頼性向上や自衛隊救援活動ルートの確保が見込まれる

関係する地方公共団体等の意見

地域から頂いた主な意見等

- ・四国8の字ネットワーク整備促進 四国東南部連盟、四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会、一般国道55号・阿南安芸自動車道整備促進期成同盟会、道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会、高知県安芸市議会などから、本事業の整備促進について、積極的な要望活動が続けられている。
(令和2年8、11月、令和3年7、11、12月、令和4年7、8、11月、令和5年2、7、8月)

高知県知事の意見

- ・事業継続に異議はありません。
- ・四国8の字ネットワークを構成する一般国道55号南国安芸道路、南国安芸道路(芸西西～安芸西)、安芸道路は、県中央部と東部地域とをつなぐ唯一の幹線道路の代替機能を担い、東部地域における経済の活性化を図る様々な取り組みを支えるとともに、発生切迫度が高まる南海トラフ地震をはじめ自然災害への備えを高めるために不可欠な道路です。これに加え、豊かな自然を活かした「自然・体験型観光」による誘客にも積極的に取り組んでおり、交流人口拡大にも資する重要な道路です。
- ・このため、国においては、南国安芸道路の令和7年春頃の開通に向けた着実な整備に加え、他2事業の早期開通に向け、より一層の事業進捗をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

「事業継続」とする事業者の判断は「妥当」である。

事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等

- ・平成20年7月 高知自動車道(南国IC～高知IC)延長7.6km 4車線化
- ・平成22年6月 高速自動車道無料化社会実験(高知IC～須崎東IC)実施
- ・平成23年3月 高知東部自動車道(香南やすIC～芸西西IC)延長3.9km 2車線開通
- ・平成23年度 一般国道55号南国安芸道路(芸西西IC～安芸西IC)延長8.5km事業化
- ・平成23年6月 高速自動車道無料化社会実験(高知IC～須崎東IC)一時凍結
- ・平成24年度 一般国道55号安芸道路 延長5.8km事業化
- ・平成25年2月 高知東部自動車道(香南かがみIC～香南やすIC)延長2.9km 2車線開通
- ・平成26年3月 高知東部自動車道(香南のいちIC～香南かがみIC)延長2.2km 2車線開通
- ・平成27年3月 高知東部自動車道(高知南IC～なんこく南IC)延長4.7km 2車線開通
- ・平成28年4月 高知東部自動車道(なんこく南IC～高知龍馬空港IC)延長4.1km 2車線開通
- ・令和3年2月 高知東部自動車道(高知自動車道～高知南IC)延長6.2km 2車線開通
- ・令和4年度 一般国道55号奈半利安芸道路(安田～安芸)延長9.1km事業化

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・平成12年度に事業化、用地進捗率100%、事業進捗率82%(令和5年3月末時点)

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・調査・設計、工事を推進しており、引き続き、早期供用に向けて事業を進める。
- ・高知龍馬空港IC～香南のいちIC間 延長3.5kmは令和7年春頃開通予定。

施設の構造や工法の変更等

- ・今後も新技術、新工法の採用による工事コストの縮減に加えて、施設の長寿命化や維持管理費を考慮した構造等の採用等、総コストの縮減に努めていくこととする。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

- ・以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。